

1. 科目名 (単位数)	教育原理 (2 単位)	3. 科目番号	JECS1101 JNCS1101
2. 授業担当教員	金 龍哲		
4. 授業形態	講義・演習 (グループ学習)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特に設けない		
7. 講義概要	<p>現在の幼稚園教育、学校教育を成り立たせている理念や制度や方法は長い歴史の中で様々な模索を通して出来上がってきたものである。この科目では、教育の歴史や思想を学ぶことを通して、その模索をふり返り、幼稚園、学校で教育に関わる職に就くことを希望している人を対象に「教育」という営みに関する基本的概念を把握し、それに基づいた教育実践の考察を通して「教育」に対する理解を深めていく。</p> <p>授業ではグループワークやディスカッションを通じて、自らの考えを人に分かりやすく伝え、また自分とは異なる意見を聞くことにより、自らの「教育観」「子ども観」について検討をすすめ、教師として必要な資質・能力の養成を目指していく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の基本的概念を学び、子ども・家庭・教師・学校など教育を成り立たせる要素との相互関係を理解する。 2. 教育の歴史を学び、現代に至るまでの教育・学校の変遷を理解し、現代社会における教育課題を歴史的観点から考察することができる。 3. 教育に関する様々な思想・理念を学び、それらと現代教育との結びつきを理解し、現代社会における教育課題を思想的観点から考察することができる。 4. 教育原理で学んだことを踏まえて、自らの「教育観」「子ども観」を具体的に考えられるようになる。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>指定された教科書の内容を、予習しておくこと。</p> <p>授業において質問したり議論したりして意欲的に参加すること</p> <p>出された課題に関するレポートの作成は、「自分の考え」を「自分のことば」で表現すること</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>教科書 金龍哲編『現代社会の人間形成』三恵社、2016年。</p> <p>参考書 今津孝次郎・馬越徹・早川操編『新しい教育の原理』名古屋大学出版会、2007年。 福元真由美編『はじめての子ども教育原理』有斐閣スタジオ、2017年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の基本的概念や教育を成り立たせる様々な要素との相互関係を理解することができたか。 ・教育の歴史を理解し、現代社会における教育課題を歴史的観点から考察することができたか。 ・教育に関する様々な思想・理念を理解し、現代社会における教育課題を思想的観点から考察することができたか。 ・自らの「教育観」「子ども観」を具体的に考えることができたか。 <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点 (積極的参加度・授業態度・発表・発言等) 30% ・課題 (中間レポート・ワークシート等) 30% ・期末評価 (レポート・試験等) 40% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>誰もが教育をし、また教育されます。あまりにも普通であるために、かえって難しい側面を持つのが教育かもしれません。人間は、教育から逃れない運命を背負っています。この大事な人間の営みを皆さんとともに考え、身近な事例と世界的な視野を持ち合わせつつ、ともに考え、追及していきたいと思います。皆さんの自分なりの教育観を形作ることを支援していきます。</p>		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション —授業の目的、方針及び進め方について	事前学習	教科書の「はしがき」を読み、授業で扱う内容の概略を把握しておく。
		事後学習	オリエンテーションを通して新たに生じた疑問点や質問を整理しておく。
第2回	教育とは何か① —教育への問いと人間への問い (討論)	事前学習	第一章「教育と人間」1-3節 pp.10-16 を読む
		事後学習	人間にとっての教育の意味を確認し、教育的存在としての人間の在り方についてまとめる。
第3回	教育とは何か② —狭い意味での教育と広い意味での教育 (討論)	事前学習	教科書第1章 4-5節 pp.11-16 を読む
		事後学習	教育の概念について広い意味と狭い意味の両方から理解し、自分なりにそれを説明できる事例を挙げておく。
第4回	学校教育の歴史① —学校はいつから始まったか	事前学習	教科書第2章「学校教育の制度的展開」pp.17-22 を読む
		事後学習	教育が制度化した歴史的背景と公教育制度三原則をまとめる。
第5回	学校教育の歴史② —義務教育の「義務」は「誰」の、「何の義務」? (討論)	事前学習	第2章「義務教育の基本的構造」pp.22-28 を読む。
		事後学習	義務教育の類型を理解し、制度が抱えている諸問題を整理しておく。
第6回	教育について考えた先人たち① —今の教育の基礎を作った思想と原理	事前学習	教科書第3章 1-2節 pp.29-34 を予習する。
		事後学習	近代教育を形作ったコメニウス、ロック、ルソー、コンドルセの基本的な考え方をまとめる。
第7回	教育について考えた先人たち② —近代教育の発展を支えた教育思想	事前学習	教科書第3章 3-4節 pp.34-41 を読む。
		事後学習	近代化過程において教育のさらなる発展に貢献し、また新教育運動を支えた思想家たちの主要

			な考え方をまとめる。
第8回	子どもとは何か① —子どもを理解することの重要性	事前学習	教科書第4章1-3節 pp.42-46 を読んでおく。
		事後学習	子どもとは何かについて問い続けてきた人たちの考え方を整理する。
第9回	子どもとは何か② —子どもは変わったか（討論）	事前学習	教科書第4-5節 pp.47-53 を読んでおく。
		事後学習	討論を通して得られた情報、自らの体験等をもとに、自分なりの子ども観の構築を試みる。
第10回	教科書とは何か —教科書、教材、教育課程	事前学習	教科書第5章 pp.54-64 を読んでおく。
		事後学習	教科書、教材、教育課程、学習指導要領、教育課程編成主体の法的根拠を整理する。
第11回	学力とは何か —学力観の変遷を考える	事前学習	第6章「21世紀型学力」 pp.65-77 を読む。
		事後学習	求められる資質や能力、教育評価の在り方の変化を踏まえて「新しい学力観」の要素をまとめる。
第12回	分かりやすい授業をどう作るか —よい授業の作り方と進め方	事前学習	教科書第7章「知ることを学ぶ」 pp.78-89 を読んでおく。
		事後学習	わかりやすい授業を基本的要素と進め方の手順をまとめる。
第13回	みんなと共に学ぶ学級づくり	事前学習	教科書第10章「学ぶ集団を育む—学級経営モデルを探る」を読んでおく。
		事後学習	学級経営の3モデルの要点をまとめる。
第14回	教師は専門職か —教職をめぐる動向を探る	事前学習	教科書第13章「専門職としての教師の育成」 pp.157-166 を読んでおく。
		事後学習	教師が専門職とするために必要な要件等について、国際比較の視点からその課題を整理する。
第15回	まとめ —文化多様性の視点から見る教育の課題	事前学習	教科書第14章「共に生きることを学ぶ」 pp.169-185 を読んでおく
		事後学習	多文化共生社会に必要なマインドをまとめる。
期末試験			